

年頭に あたって

できることから一歩一歩



下條村長 金 田 憲 治

そのたたき台を策定中です。初めての予算編成にあたっては、現在村が抱えている課題のうち緊急度の高い事業に着手したところ。一つ目はリニア時代を見据えての定住人口の維持と交流人口を増やす事業です。定住フェアでのPRや勧誘、短期宿泊、そして永住に向けての住宅用地の斡旋ができるよう取組みを始めました。

二つ目は子育て、教育環境の整備に対する取組みです。従来の制度を継承しつつ新たに産出しやすい環境、子育て支援センターの建設等子育てや教育を受け易い施設整備、そして高校生の通学支援の事業を実施することといたしました。

三つ目は持続可能なむらづくりに対する取組みです。防災・減災能力の向上では公益施設の非常用電源設置や耐震改修費の増額を、活性化や生活コストを下げる事業ではプレミアム二十%の商品券を、地域の特色のある村づくりの事業としてはうまいもの館施設改修や園芸振興の制度創設などを行いました。

続きまして、新年度取組む各種施策について、主なものを申し上げます。

先ず第一点目は、下條認知度を増し、移住定住、交流人口の拡大に繋がる事業を昨年に引き続き取組みます。昨年は関東地域に重点を置いて展開し、一組が村営住宅に入る予定となつていきます。本年は中京方面にも拡大していきます。

第二点目は、国道や観光施設に繋がる沿道の整備を図るとともにリニア時代に対応した地域づくりのため、景観指針を策定します。

第三点目は、防災・減災対策を、更に強化していきます。自分、家族や隣人などを自ら守る「自守防災組織」、地域やまちを守る「自主防災組織」が機能していくことが重要で、減災向上が図れるよう取組んでいきます。

また、災害物資等の充実なども進めます。

第四点目は、英語教育改革に向け、講師の充実と国際化への対応が出来る人材育成を強力に進めていきます。

第五点目は、人材確保の対応に取組んでいきます。あらゆる職種で人材の確保が困難になってきていますが、村の方々が多く利用している介護施設で十分な介護が受けられるよう介護職員の確保に向けての支援をしてま

いります。我が下條村は自立の道を選び、先人達の努力により安定した財政力を保持するとともに全国に注目される村となりましたが、少子高齢化が進行し支える側である生産者人口の減少や

夢を実現できる下條村へ

下條村議会議員 村 松 積



明けましておめでとうございます。平成三十年の輝かしい新春を迎え、村民の皆様にご挨拶を代表して謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。また、日ごろは議会活動に対し陰に陽にご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、夏場から不安定な天候に見舞われて、猛暑から長雨と日本列島に相次ぐ台風の上陸により、九州地区を始め各地で大きな被害を受けています。下條村では、被害は少なかつたものの、農作物の成長時期や収穫時に、天候不順が重なり

被害が発生しました、対応についても今後の課題と考えています。

さて、リニア中央新幹線も九年後には開通され、各地に於いて工事が始まり、トンネル工事の残土処理についてもJR東海側からの残土運搬経路も示されて、下條村では飯田近辺の発生土を、中央道經由山本インターから三遠南信自動車道を経て一五号線經由にて、火沢地区に搬入を計画しており、早急に埋めたて後の利用計画を立てなくてはならない時期になりました。また、三遠南信自動車道も各地において部分供用がされており、三月までは龍江インターから飯田東インター間の供用を予定しており、一日も早い浜松までの全線供用されるよう願うものです。

粒良脇トンネル事業は現在設計中で、今後は補償単価や用地交渉がなされ、着工時期等や完成時期は示されて

づくり、地域づくりを進め「より良い下條村」の実現のため邁進してまいりますので、一層のお力添えをよろしくお願ひ申し上げます。

村民の皆様のご多幸を心からお願ひ申し上げます、新年の挨拶といたします。いませんが、一刻も早い完成を願ひ予算確保を強力に進めていきます。

まだまだ地方公共団体を取り巻く環境も、非常に厳しい状況にあり、行政改革を基本とした、様々な見地から、予算の無駄を削減し、克服すべき課題は山積されています。村民の皆様にとって、本場に必要政策は、住民サービスが展開される事で、我々議会人として住民から付託された大きな使命である事を意識し、一層の努力を重ね下條村のさらなる発展と、福祉向上・生活の安定を図るため、議員一丸となつて力を傾注していかなくてはならないと思っております。

本年が皆様方にとって、輝かしく、限らないご繁栄とご躍進の年となりますよう、心からご祈念いたし、年頭のあいさつといたします。